



中山地区新任職員紹介

5月1日現在の中山
世帯数 951
人口 2,216
【問い合わせ】
中山公民館報編集委員会
58-5822

中山小学校



祖父江 資子先生
(特支支援員)

佐藤 功貴先生
(4年生担任)

田原 和幸教頭先生

三村 恵巨先生
(専科教員)

小池 円先生
(養護教員)

中山地域づくりセンター



金山 博文センター長



桃井 多美子職員

中山保育園



小林 加奈栄園長

石松 希先生

黒野 弥生先生

鈴木 友紀奈先生

中山地区担当保健師



秋元 あゆ美保健師

中山公民館



宇治 樹主事



中山の店紹介

山岸医院



古くから中山地域の医療の拠点として診療している山岸医院の歴史は、旧中山村の時代に国民健康保険中山診療所としてスタートしました。当時は国立病院からの派遣医師による院内のみの診療でしたが、昭和28年の建て替えを経

て、昭和41年、国からの払下げ時に初代山岸行雄医院長が山岸医院として開業し、地区内の住民診療と中山小学校の学校医としても医療を担って来ました。

現在は豊科赤十字病院（当時）内科副部長であった山岸淳一郎先生が第2代医院長として、3名のスタッフと共に診療されています。

山岸医院長は当時の事を振り返りながら「開業してからも国保時代の名残で“診療所”、“診療所”と呼んでいただき地域の皆さんの信頼を感じます。今は、午前診療と午後の往診（急患など）と訪問診療（定期診療）に力を入れています。当医院は内科ではありますが、他の診療科の入口（初期医療）とし

て又 疾病予防や健康管理にいたる医療全般を提供し地域に貢献して行きたい」と笑顔で語っていました。

山岸先生の患者に向き合う誠実な姿勢に、現在では中山地域のみならず市内、安曇・塩尻・木曾方面からも患者さんが通院されています。今後も地域の灯台として住民の健康寿命を支えていくことでしょう。

大内景子さん 山岸淳一郎医院長



山岸祐美さん 山岸清美さん

「館報委員になって」

◎初めての館報委員。微力ですが、お役に立てるよう頑張ります。(K・H)

◎館報のことは、全く知らずに選ばれてきましたが、これを機に中山のことを詳しく知り、皆さんと一緒に良い館報を作っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。(K・M)

◎館報委員に成る人がいなく、代理出席ですが、文章を書くのはきらいです。私の仕事は機械の設計なので、文を書くことは昔からきらいです。(F・Y)

◎館報委員4年目になります。記事を書くことの難しさを感じつつ、未だに慣れません、あと1年頑張ります。(K・H)

◎トラクター5台、バックホー2台、その他を使用して、農地等の保全管理をしています。(S・A)

◎長く中山に住んでいます、知らないことがたくさんあります。そんなことを少しでもお伝えできればと思えます。(M・M)

◎一人暮らしの会社員です。早朝6時〜午後6時までには仕事でそれ以外は家事などで忙しいですが、頑張ります。(Y・A)

◎今年から館報委員を務めさせていただきます。中山の良いところや、少しでも皆さんのお役に立てる情報を発信出来たらと思えます。(H・K)

◎館報委員の仕事を良く分からずに引き受けました。微力ですが、皆さんに読んでもらえるような館報が作れるよう努力します。(T・U)

◎2年目になりますが、まだまだ慣れません。あと1年頑張りたいと思えます。(H・N)



伏魔

昨年、ウクレレを習い始めた。

我が家に弦楽器が置いてある満足感と、音楽用語を知ることの嬉しさと、初めてウクレレを奏でるワクワク感に加え、館長のユーモアに富んだ指導のおかげで、実に楽しい時間を持つことができた。残りの人生、終活をしながら、元気に楽しく行(生)きたいものだ。



(K・H)